



平成30年10月18日
～美ら島の未来を拓く～
内閣府沖縄総合事務局

高校生向け路線バス利用促進の実証実験について

沖縄県内の路線バス利用者数は減少し、市街地では交通渋滞が慢性化している中、通学交通に関する自家用車送迎による学校周辺の渋滞等が問題となっております。今般、沖縄総合事務局では、OKICAを発行しております沖縄ICカード株式会社様にご協力頂き、以下の実証実験を実施いたします。

本実証実験において得られたアンケート、利用履歴等を活用して公共交通の利用促進、移動手段の分散化による交通渋滞の緩和を図ります。

【公共交通を利用した通学体験実証実験】

- 那覇市内の全高校を対象に高校生への路線バス利用意識啓発ツールを配布しました。
(平成30年10月から配布開始)
- 実験参加者には、バス路線検索・最寄りバス停への接近情報等が分かる「通学バス運行情報サイト」を提供し、公共交通機関を利用した通学を体験してもらいます。
- 実験参加者には、OKICAを貸与します。
- 貸与するOKICAには、購入額に応じ上乗せしてチャージを行います。

(実験期間)

平成30年11月5日～平成31年2月22日

【その他】

- OKICAを利用してバス・モノレールを利用した方には、各商業施設等において独自の特典・サービス（割引・1品サービス等）を受けることが出来る『OKICAWARI』を継続実施しております。

【添付資料】

【問合先】

沖縄総合事務局運輸部企画室 三宅・崎濱・新田・池間

TEL 098-866-0031 (内線 85242・85246・85244)

FAX 098-860-2369

【受託事業者】

株式会社 国建

A 沖縄周辺では台風の頻発が心配の種になっておりますが、地球上のあらゆるところで異常気象による自然災害が発生し、人々の生命や財産が奪われています。この問題には地球市民の全員が取組まなければ、地球は私達人類が住めない環境になってしまいます。

今の地球の異常気象は、これまでもあった自然現象が地球温暖化により極大化したものです。

極大化した自然現象とは次のように、極端な規模で、あるいは集中的に起きる現象です。

雨が降る時は豪雨災害が起きるほどの大雨が降り、

降らない時は日曜日・乾燥で農作物が被害を受け、乾燥した木々がこすれ合うことで山火事が発生するほど乾燥する。

日本で台風がたくさん発生し、集中豪雨で大きな被害が出ているというニュースが毎日のように報道されています。

極大化した自然災害は地球上のあらゆるところで発生しています。最近の災害事例をNHKニュースのテレビ画像でご紹介します。



【米国】極大化したハリケーンが米国を襲い、沖縄県の人口に匹敵する人々が避難。。。



【熱波】この夏、日本も記録的な暑さに襲われたが、ヨーロッパでも。。。



【乾燥】地球が温室化し乾燥が進み、食糧が消え、地球は生物が住めなくなる。。。。

B 那覇市周辺の交通は、県民の生活習慣から車利用が多く、渋滞が激しく、混雑時の旅行速度は他の県庁所在地と比較してもワーストワンです。

右のような沖縄に特徴的な生活習慣等が車を増やし渋滞を惹起していると言われています。

【沖縄の交通行動の特徴】

- ・近くのコンビニにも車で行く
- ・車による生徒等の通学送迎

増大する交通量と都市圏に集中する交通

■沖縄県内の平均交通量は11,325台／24h、全国平均の約1.45倍



図 道路交通センサスによる平均交通量の推移

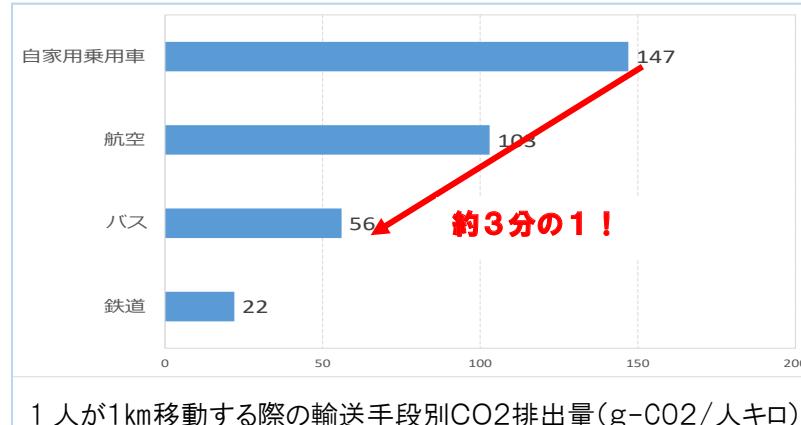
C 次に示すデータ等をみると、CO2排出削減及び渋滞対策に公共交通利用が効果的であることがわかります。

■公共交通利用がCO2排出削減に効果があることを示すデータ

右上の図で全国と沖縄県の部門別二酸化炭素排出量の排出構成を比較すると、全国では運輸部門は3位ですが、沖縄県では1位で27.4%と高い割合を占めています。

さらに、右下の図で、運輸部門・旅客の交通手段別内訳をみると、沖縄は自家用車の割合が全国に比べて20%以上も大きいものとなっています。

下段の図にみるように、1人が1km移動する際の、輸送手段別のCO2排出量は車が最も大きく、バスの3倍の排出量となっています。自家用車の利用を減らし、バスを多く利用するとCO2排出量が減らせることがわかります。



1人が1km移動する際の輸送手段別CO2排出量(g-CO2/人キロ)



■渋滞対策効果を示すデータ

下の図は、沖縄と同じように一人乗りが多い大量の車の利用者をバスに乗せ換えると、たった3台のバスで受け入れができるという事を示しています。

左の写真のようなものすごい渋滞状況が、右の写真のように、たった3台のバスで解決してしまうのです。



出典:ストラスブル市資料

点線から切り取ってアンケートにご回答のうえご返送下さい。

9 0 0 - 8 7 9 0



料金受取人払郵便
那覇中央局承認
4334
差出有効期限
平成30年03月
22日まで有効
(切手不要)

アンケート調査係
行

沖縄県那覇市久茂地1丁目2番20号

株式会社国建土木設計部内

OTV国和プラザ

点線からハガキ部分を切り取ってアンケートにご回答のうえご返送ください。

D A～Cを踏まえ、高校生のみなさんに“smart move”というカッコイイ取組みを提案します。

政府広報においては、全国各地で普段の生活の中で利用している交通方法を見直し、様々な移動手段の使い方を工夫してCO₂削減をしようという取組み“smart move”（スマートムーブ）を推進しています。

沖縄の高校生のみなさんにも、自分の通学時の交通行動を振り返ってもらい、沖縄県民にとっての大きな社会的課題である地球環境問題や交通渋滞問題の解決に貢献して頂きたいと考えています。

具体的には、ご家族の車送迎による通学をなさっている方を中心に、バスなど公共交通を賢く利用してもらいう“smart move”プロジェクトを試行いたします。

送迎が多いこれまでの通学時の姿
・地域で車が多く発生し、渋滞で走行速度は遅い
・学校周辺で車の輻輳が発生



Smart move プロジェクト

・最寄りバス停までの車送迎、徒歩、自転車で、地域全体で車が減り、渋滞が軽減
・学校周辺での車の輻輳が軽減



生徒

・送迎する家族との時間調整が不要となり、自分の都合で行動できる



家庭

・送迎の時間がいらないためパート時間を増やし収入を増やせて、家計が助かる



高校

・車での送迎による学校周辺の交通輻輳が減り、事故の危険が減る。

点線から切り取って アンケート用紙 にご回答のうえご返送ください

1 所属を教えてください。 _____ 高校 年生

2 住まいを教えてください。 市・町・村 字・丁目

3 あなたの登校時の交通手段について教えてください。
(頻度の高い順に1～3の番号を記入してください。)

徒歩 自転車 バス モノレール

保護者等による送迎 (週に 回ぐらい)

その他 ()

4 あなたの下校時の交通手段について教えてください。
(頻度の高い順に1～3の番号を記入してください。)

徒歩 自転車 バス モノレール

保護者等による送迎 (週に 回ぐらい)

その他 ()

5 塾や遊びに行くなどで、下校時に家に直行しない日は一ヶ月に何日ぐらいありますか。

月に () 日位

6 土、日、祝日に登校する日は一ヶ月に何日ありますか。
土曜に () 日位 日曜に () 日位 祝日に () 日位

7 右欄にて提案したスマートムーブプロジェクトに参加しますか。

する しない → 回答は終了です。
ご協力ありがとうございました。

参加を希望する方は以下にご記入ください。(住所は室番までご記入ください)
※今後、支払いの連絡等を行いますので、連絡先(E-mail、Line、携帯電話の番号など)を右のQRコードを読み取り回答してください。

住所: 市・町・村

氏名:



参加者大募集！！

上記のプロジェクトの趣旨にご賛同いただき、参加を希望される方は、左記のはがきにご記入の上、ご返送ください。
締め切り 平成30年10月22日【当日消印有効】

高校生が家族と一緒に、沖縄の抱える社会的課題

『地球温暖化防止と公共交通利用促進』に取組むプロジェクト

“smart move (スマートムーブ)”プロジェクト 参加者(参加校)募集!!

【那覇市内高校在校生およびご家族の皆様へ】

この度沖縄総合事務局運輸部では、沖縄の抱える社会的課題である「交通渋滞解消」や「地球温暖化防止」に向けて、高校生の皆様にも、既存のバスをもっと利用してもらうよう、「smart move(スマートムーブ)」プロジェクトを実施することとしております。

実験期間: 平成30年11月5日～平成31年2月22日(予定)

『プロジェクト①』

バスの乗り方や、便利にバスを使うにあたってバス停の場所が分からぬなどの問い合わせには、アンケートで回答いただいた連絡先を利用してお答えします。

『プロジェクト②』

自宅近くのバス停(途中まで自家用車での送迎もOK)から学校最寄りのバス停まで、路線バスをOKICAで利用していただきます。

『プロジェクト③』

実験参加者にはOKICAを貸与します。

貸与するOKICAに、下記によりチャージします。

¥5,000 ⇒ チャージ額 ¥6,000 (¥1,000 お得)

¥10,000 ⇒ チャージ額 ¥12,000 (¥2,000 お得)

¥20,000 ⇒ チャージ額 ¥24,000 (¥4,000 お得)

『プロジェクト④』

通学利用だけでなく、塾、買い物など寄り道もOK！ 土日の利用もOK！

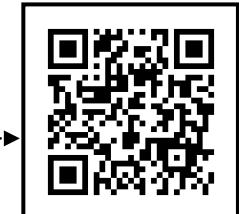
参加者大募集！！※参加希望者は下記【参加手続】へ

応募者多数の場合は、自家用車で通学している方を優先させていただきます。

【参加手続き】

※1 参加希望者は、左の4頁のアンケート用紙、または下記QRコードかURLからのアンケートのうち、一つに回答したうえで※2の手続きを行ってください。

WEB回答〆切 QRコード コチラ
10/23 URL: <https://goo.gl/forms/z2t987IKN3VGqYmE3>



※2 貸与するOKICAに事前にチャージを行いますので、ご希望の金額を下記の郵便口座にお振込みください。
(郵便口座をお持ちの場合の振り込み手数料は、月1回に限り無料になります。) (10/23 振込期限)

振込口座 記号: 17070 番号: 17989011 口座名: (カ)クニケン

なお、お振込み人名の欄には、“希望金額”に続けて“生徒の姓名”をカタカナで記入してください。

※3 OKICAの貸与は10月末頃に学校を通じて配布する予定です。

※4 貸与したOKICAは、実験終了後、返還していただきます。

※5 貸与したOKICAの払い戻しは絶対に行わないでください。また、追加のチャージは行わないでください。

※6 利用実態を把握するため、個人情報に配慮して利用履歴を取得いたします。
ただし、個人毎の利用実態は調査いたしません。

※7 貸与したOKICAは、使い切っていただくことを原則としますが、実験終了時に残額がある場合は、以下に例示する方法で返金いたします。

○ 購入額¥5,000の場合 : (残額 × 5/6)	返金額
例: ¥3,000 利用 カード残額 ¥3,000 の場合	¥3,000 × 5/6 = ¥2,500
○ 購入額¥10,000の場合 : (残額 × 10/12)	返金額
例: ¥3,000 利用 カード残額 ¥9,000 の場合	¥9,000 × 10/12 = ¥7,500
○ 購入額¥20,000の場合 : (残額 × 20/24)	返金額
例: ¥9,000 利用 カード残額 ¥15,000 の場合	¥15,000 × 20/24 = ¥12,500

【受託者】株式会社国建土木設計部 / 担当: 横井千尋、中村司 ☎098-862-1109

【委託者】沖縄総合事務局運輸部企画室 / 担当: 池間隆弘、崎濱秀治 ☎098-866-1812